

## 日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第267期（決算日 2025年8月15日）第269期（決算日 2025年10月15日）第271期（決算日 2025年12月15日）  
第268期（決算日 2025年9月16日）第270期（決算日 2025年11月17日）第272期（決算日 2026年1月15日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2026年1月15日に第272期の決算を行ないましたので、第267期から第272期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマースヤル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<952346>

## 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
243期(2023年8月15日)	5,019	5	2.3	216.67	1.8	—	98.4	3,367	
244期(2023年9月15日)	5,013	5	△0.0	217.46	0.4	—	98.3	3,334	
245期(2023年10月16日)	4,948	5	△1.2	216.73	△0.3	—	98.3	3,285	
246期(2023年11月15日)	5,105	5	3.3	224.66	3.7	—	98.3	3,346	
247期(2023年12月15日)	5,009	5	△1.8	220.54	△1.8	—	98.4	3,234	
248期(2024年1月15日)	5,067	5	1.3	225.27	2.1	—	98.3	3,254	
249期(2024年2月15日)	5,125	5	1.2	229.62	1.9	—	98.3	3,254	
250期(2024年3月15日)	5,112	5	△0.2	228.20	△0.6	—	98.3	3,203	
251期(2024年4月15日)	5,232	5	2.4	232.33	1.8	—	98.3	3,261	
252期(2024年5月15日)	5,348	5	2.3	239.54	3.1	0.1	98.3	3,325	
253期(2024年6月17日)	5,355	5	0.2	242.69	1.3	0.1	98.4	3,297	
254期(2024年7月16日)	5,449	5	1.8	246.60	1.6	0.1	98.3	3,316	
255期(2024年8月15日)	5,164	5	△5.1	235.21	△4.6	0.1	98.3	3,126	
256期(2024年9月17日)	5,028	5	△2.5	229.27	△2.5	0.1	98.3	3,038	
257期(2024年10月15日)	5,176	5	3.0	238.89	4.2	0.1	98.3	3,108	
258期(2024年11月15日)	5,308	5	2.6	243.12	1.8	0.1	98.4	3,151	
259期(2024年12月16日)	5,247	5	△1.1	240.67	△1.0	0.1	98.3	3,105	
260期(2025年1月15日)	5,217	5	△0.5	241.02	0.1	0.1	98.3	3,081	
261期(2025年2月17日)	5,176	5	△0.7	239.01	△0.8	0.1	98.3	3,042	
262期(2025年3月17日)	5,040	5	△2.5	235.26	△1.6	0.1	98.3	2,950	
263期(2025年4月15日)	4,974	5	△1.2	232.35	△1.2	0.1	98.3	2,887	
264期(2025年5月15日)	5,033	5	1.3	235.83	1.5	0.1	98.4	2,906	
265期(2025年6月16日)	5,118	5	1.8	237.31	0.6	0.1	98.4	2,921	
266期(2025年7月15日)	5,198	5	1.7	243.40	2.6	0.1	98.4	2,958	
267期(2025年8月15日)	5,256	5	1.2	245.08	0.7	0.1	98.3	2,970	
268期(2025年9月16日)	5,286	5	0.7	248.03	1.2	0.1	98.3	2,983	
269期(2025年10月15日)	5,390	5	2.1	255.18	2.9	0.1	98.3	3,004	
270期(2025年11月17日)	5,428	5	0.8	259.24	1.6	0.1	98.4	3,000	
271期(2025年12月15日)	5,441	5	0.3	262.57	1.3	0.1	98.3	3,002	
272期(2026年1月15日)	5,530	5	1.7	268.30	2.2	0.1	98.3	3,046	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2026年1月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第267期	(期 首) 2025年 7月15日	円 5,198	% —	243.40	% —	% 0.1	% 98.4
	7 月 末	5,246	0.9	244.95	0.6	0.2	98.3
	(期 末) 2025年 8月15日	5,261	1.2	245.08	0.7	0.1	98.3
第268期	(期 首) 2025年 8月15日	5,256	—	245.08	—	0.1	98.3
	8 月 末	5,223	△0.6	244.67	△0.2	0.1	98.3
	(期 末) 2025年 9月16日	5,291	0.7	248.03	1.2	0.1	98.3
第269期	(期 首) 2025年 9月16日	5,286	—	248.03	—	0.1	98.3
	9 月 末	5,304	0.3	249.05	0.4	0.1	98.3
	(期 末) 2025年10月15日	5,395	2.1	255.18	2.9	0.1	98.3
第270期	(期 首) 2025年10月15日	5,390	—	255.18	—	0.1	98.3
	10 月 末	5,440	0.9	259.06	1.5	0.2	98.4
	(期 末) 2025年11月17日	5,433	0.8	259.24	1.6	0.1	98.4
第271期	(期 首) 2025年11月17日	5,428	—	259.24	—	0.1	98.4
	11 月 末	5,517	1.6	263.97	1.8	0.1	98.0
	(期 末) 2025年12月15日	5,446	0.3	262.57	1.3	0.1	98.3
第272期	(期 首) 2025年12月15日	5,441	—	262.57	—	0.1	98.3
	12 月 末	5,498	1.0	264.66	0.8	0.1	98.3
	(期 末) 2026年 1月15日	5,535	1.7	268.30	2.2	0.1	98.3

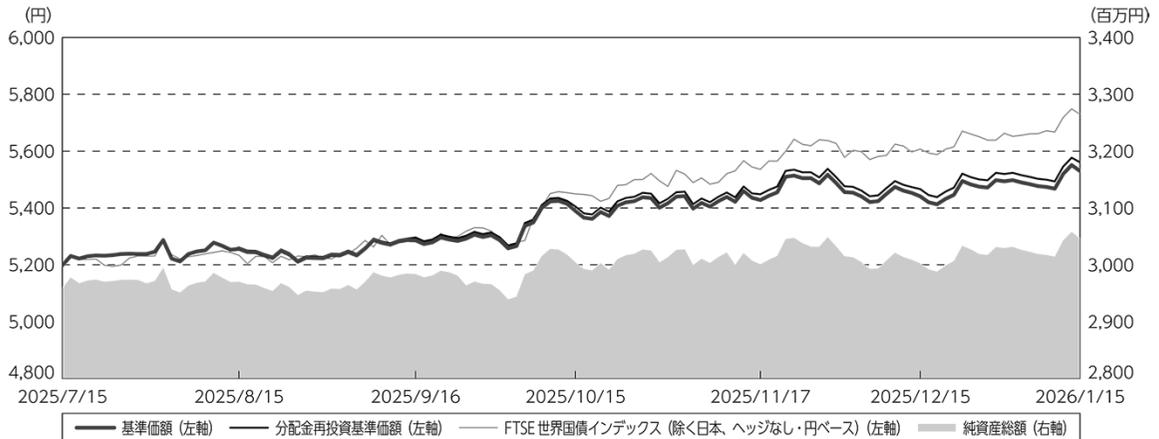
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2025年7月16日～2026年1月15日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



第267期首：5,198円

第272期末：5,530円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：7.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2025年7月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## ＜値上がり要因＞

- ・対アメリカドルでの円安などにより参考指数が上昇したこと。

## ＜値下がり要因＞

- ・債券国別配分戦略、通貨配分戦略、資産間配分戦略がマイナスに影響したこと。

## 投資環境

## （海外債券市況）

期間中は、米国、英国では国債利回りが低下（債券価格は上昇）したものの、日本、ドイツ、フランスでは利回りが上昇（債券価格は下落）しました。

米国10年債利回りは、2025年7月中旬に4.5%をやや下回る水準から経済指標の軟化などを受け下降して10月には4.0%を切る水準まで低下しましたが、その後日欧の金利上昇の影響を受け4.1%台の水準で期間末を迎えました。

ドイツ10年債利回りは、2025年前半にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行なったことで一時的に2.8%台まで上昇しましたが、ECB（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことから10月にかけて低下しました。しかし、底堅い景気と財政拡張に対する懸念から再び上昇して2.8%を超える水準で期間末を迎えました。

日本の10年債利回りは、4月に米トランプ政権の相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで低下しましたが、強い物価指標や日銀の金融正常化路線、また財政拡張派の高市政権の誕生を受け上昇し、2.1%台後半の水準で期間末を迎えました。

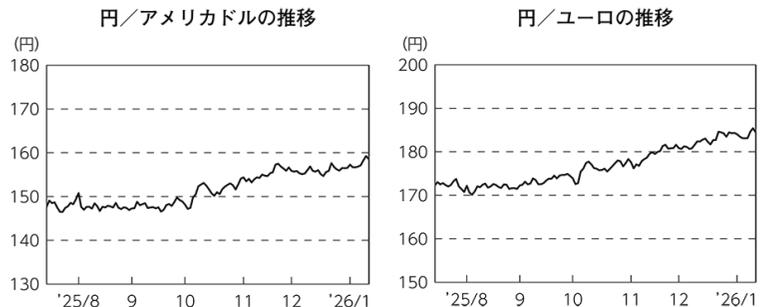
## （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.38%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.70%近辺で期間末を迎えました。

## （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

### ①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

### ②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はマイナスであったものと推定されます。日本とオーストラリアに対して強気としていたことがマイナス要因となりましたが、カナダに対して強気としたことはプラス要因となりました。

### ③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないます。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスに僅かにマイナス要因となったものと推定されます。スイスフランとアメリカドルに対して弱気としていたことがマイナス要因となった一方で、イギリスポンドに対して強気としたことはプラス要因となりました。

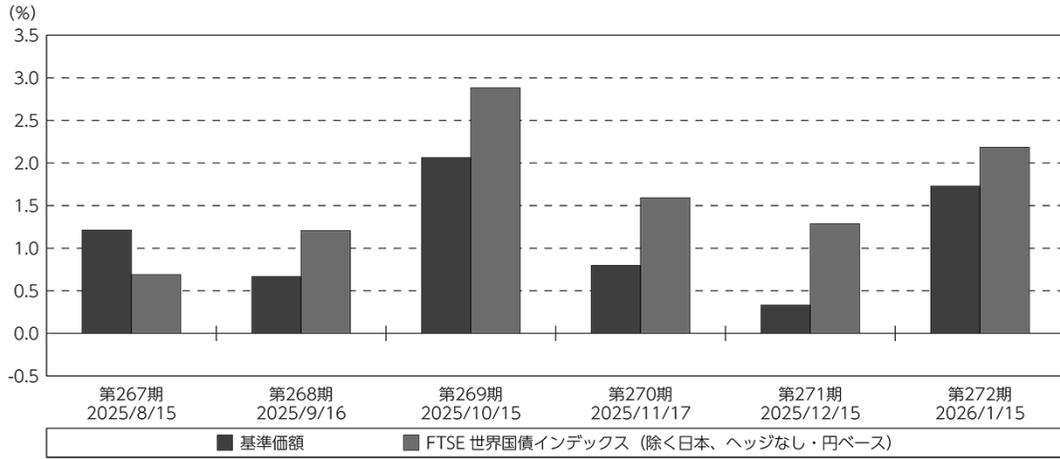
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
	2025年7月16日～ 2025年8月15日	2025年8月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月15日	2025年10月16日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.095%	5 0.095%	5 0.093%	5 0.092%	5 0.092%	5 0.090%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	114	116	119	121	123	126

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないます。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

### ①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に弱気の見通しとしています。

### ②債券国別配分

債券国別配分においては、米国やフランスに対して強気の見通しとする一方で、ドイツや日本に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、フランスに対してはマクロの観点から強気とする一方で、ドイツに対してはマクロおよびモメンタムの観点から、日本に対してはモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

### ③通貨配分

通貨配分においては、イギリスポンドやカナダドルに対して強気の見通しとする一方で、アメリカドルやニュージーランドドルに対して弱気の見通しとしています。イギリスポンドに対してはモメンタムやマクロの観点から、カナダドルに対してはマクロの観点から強気の見通しとする一方で、アメリカドルとニュージーランドドルに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年7月16日～2026年1月15日)

項 目	第267期～第272期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.222	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 2 )	(0.044)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 9 )	(0.161)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	12	0.224	
作成期間の平均基準価額は、5,371円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

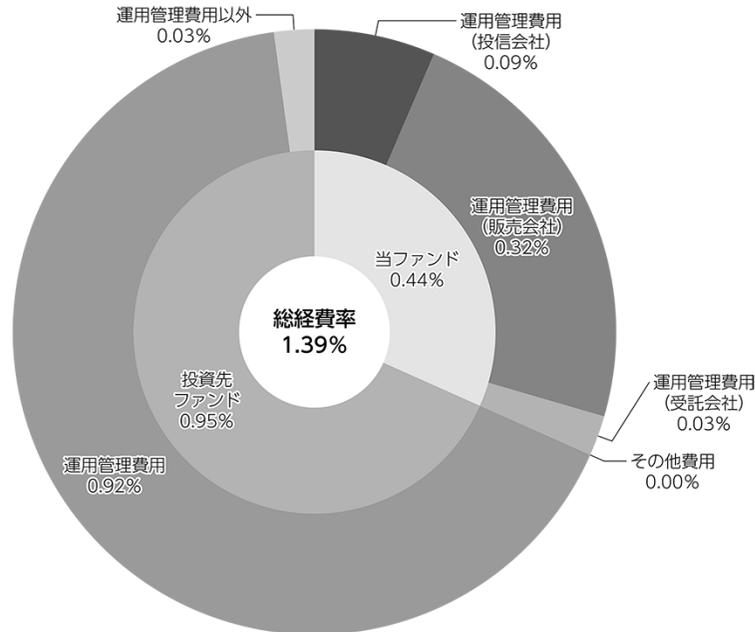
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## （参考情報）

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.39
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.92
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年7月16日～2026年1月15日)

## 投資信託証券

銘		柄		第267期～第272期			
				買付		売付	
				口数	金額	口数	金額
国内	世界ソブリン・ベビーファンド	千口 51,247	千円 35,383	千口 194,783	千円 133,114		

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		柄		第267期～第272期			
				設定		解約	
				口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 328	千円 334	千口 58	千円 59		

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年7月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年7月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年7月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2026年1月15日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第266期末	第272期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
世界ソブリン・ベビーファンド		4,393,220	4,249,684	2,995,177	98.3
合	計	4,393,220	4,249,684	2,995,177	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘	柄	第266期末	第272期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド		5,617	5,887	6,008

(注) 親投資信託の2026年1月15日現在の受益権総口数は、234,608千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月15日現在)

項	目	第272期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		2,995,177	98.1
マネー・オープン・マザーファンド		6,008	0.2
コール・ローン等、その他		51,108	1.7
投資信託財産総額		3,052,293	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第267期末	第268期末	第269期末	第270期末	第271期末	第272期末
	2025年8月15日現在	2025年9月16日現在	2025年10月15日現在	2025年11月17日現在	2025年12月15日現在	2026年1月15日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>2,975,321,319</b>	<b>2,988,473,236</b>	<b>3,011,308,464</b>	<b>3,006,812,095</b>	<b>3,006,384,032</b>	<b>3,052,293,358</b>
コール・ローン等	43,547,849	43,899,544	45,531,809	45,728,613	45,194,149	44,874,345
投資信託受益証券(評価額)	2,921,023,577	2,934,196,282	2,953,919,671	2,952,198,498	2,951,697,379	2,995,177,771
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	5,720,894	5,723,141	5,725,388	5,727,635	6,009,530	6,008,364
未収入金	5,028,420	4,653,687	6,130,989	3,156,740	3,482,372	6,231,972
未収利息	579	582	607	609	602	906
<b>(B) 負債</b>	<b>5,057,088</b>	<b>4,699,072</b>	<b>6,809,800</b>	<b>5,906,717</b>	<b>3,789,325</b>	<b>6,052,379</b>
未払収益分配金	2,825,588	2,822,302	2,786,928	2,764,297	2,759,113	2,754,380
未払解約金	1,109,519	720,861	2,969,217	1,932,868	4	2,157,745
未払信託報酬	1,110,884	1,144,473	1,043,231	1,197,587	1,020,016	1,128,976
その他未払費用	11,097	11,436	10,424	11,965	10,192	11,278
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,970,264,231</b>	<b>2,983,774,164</b>	<b>3,004,498,664</b>	<b>3,000,905,378</b>	<b>3,002,594,707</b>	<b>3,046,240,979</b>
元本	5,651,176,030	5,644,605,349	5,573,856,290	5,528,595,260	5,518,226,291	5,508,761,237
次期繰越損益金	△2,680,911,799	△2,660,831,185	△2,569,357,626	△2,527,689,882	△2,515,631,584	△2,462,520,258
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,651,176,030口</b>	<b>5,644,605,349口</b>	<b>5,573,856,290口</b>	<b>5,528,595,260口</b>	<b>5,518,226,291口</b>	<b>5,508,761,237口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	5,256円	5,286円	5,390円	5,428円	5,441円	5,530円

(注) 当ファンドの第267期首元本額は5,691,534,124円、第267～272期中追加設定元本額は48,564,735円、第267～272期中一部解約元本額は231,337,622円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第267期0.5256円、第268期0.5286円、第269期0.5390円、第270期0.5428円、第271期0.5441円、第272期0.5530円です。

(注) 2026年1月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,462,520,258円です。

## ○損益の状況

項 目	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
	2025年7月16日～ 2025年8月15日	2025年8月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月15日	2025年10月16日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,371,796	4,367,757	4,310,954	4,278,961	4,268,797	4,270,262
受取配当金	4,353,578	4,348,874	4,293,508	4,259,191	4,250,723	4,243,681
受取利息	18,218	18,883	17,446	19,770	18,074	26,581
(B) 有価証券売買損益	32,258,806	16,574,283	57,643,735	20,498,156	6,668,480	48,417,535
売買益	32,430,520	16,583,118	57,841,369	20,690,734	6,878,272	48,484,984
売買損	△ 171,714	△ 8,835	△ 197,634	△ 192,578	△ 209,792	△ 67,449
(C) 信託報酬等	△ 1,121,981	△ 1,155,909	△ 1,053,655	△ 1,209,552	△ 1,030,208	△ 1,140,254
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	35,508,621	19,786,131	60,901,034	23,567,565	9,907,069	51,547,543
(E) 前期繰越損益金	△1,588,368,240	△1,553,007,012	△1,513,936,011	△1,443,193,485	△1,413,309,708	△1,402,865,328
(F) 追加信託差損益金	△1,125,226,592	△1,124,788,002	△1,113,535,721	△1,105,299,665	△1,109,469,832	△1,108,448,093
(配当等相当額)	( 33,495,876)	( 33,474,292)	( 33,114,789)	( 32,864,342)	( 32,957,449)	( 32,923,073)
(売買損益相当額)	(△1,158,722,468)	(△1,158,262,294)	(△1,146,650,510)	(△1,138,164,007)	(△1,142,427,281)	(△1,141,371,166)
(G) 計(D+E+F)	△2,678,086,211	△2,658,008,883	△2,566,570,698	△2,524,925,585	△2,512,872,471	△2,459,765,878
(H) 収益分配金	△ 2,825,588	△ 2,822,302	△ 2,786,928	△ 2,764,297	△ 2,759,113	△ 2,754,380
次期繰越損益金 (G+H)	△2,680,911,799	△2,660,831,185	△2,569,357,626	△2,527,689,882	△2,515,631,584	△2,462,520,258
追加信託差損益金	△1,125,226,592	△1,124,788,002	△1,113,535,721	△1,105,299,665	△1,109,469,832	△1,108,448,093
(配当等相当額)	( 33,495,876)	( 33,474,292)	( 33,114,789)	( 32,864,342)	( 32,957,450)	( 32,923,073)
(売買損益相当額)	(△1,158,722,468)	(△1,158,262,294)	(△1,146,650,510)	(△1,138,164,007)	(△1,142,427,282)	(△1,141,371,166)
分配準備積立金	31,066,925	32,319,001	33,305,661	34,323,757	35,213,247	36,555,733
繰越損益金	△1,586,752,132	△1,568,362,184	△1,489,127,566	△1,456,713,974	△1,441,374,999	△1,390,627,898

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2025年7月16日～2026年1月15日）は以下の通りです。

項 目	2025年7月16日～ 2025年8月15日	2025年8月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月15日	2025年10月16日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,238,862円	4,127,862円	4,238,732円	4,071,302円	3,867,725円	4,179,415円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	33,495,876円	33,474,292円	33,114,789円	32,864,342円	32,957,450円	32,923,073円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	29,653,651円	31,013,441円	31,853,857円	33,016,752円	34,104,635円	35,130,698円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	67,388,389円	68,615,595円	69,207,378円	69,952,396円	70,929,810円	72,233,186円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	119円	121円	124円	126円	128円	131円
g. 分配金	2,825,588円	2,822,302円	2,786,928円	2,764,297円	2,759,113円	2,754,380円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2025年7月16日から2026年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更したため、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第1条、第16条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# 世界ソブリン・ベビーファンド

## 追加型投信／海外／債券

第267期(決算日2025年8月14日)

第268期(決算日2025年9月12日)

第269期(決算日2025年10月14日)

第270期(決算日2025年11月14日)

第271期(決算日2025年12月12日)

第272期(決算日2026年1月14日)

作成対象期間:2025年7月15日～2026年1月14日

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第267期～第272期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543

東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先：03-4587-6000（代表）

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

第272期末（2026年1月14日）		第267期～第272期	
基準価額	7,069円	騰落率	8.0%
純資産総額	3,210百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券				
信託期間	原則として無期限				
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。				
主要投資対象	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>本ファンド</td> <td>計量世界債券マザーファンドの受益証券</td> </tr> <tr> <td>計量世界債券マザーファンド</td> <td>債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨</td> </tr> </tbody> </table>	本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券	計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券				
計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨				
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資については制限を設けません。</li> <li>・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。</li> </ul>				
分配方針	原則として毎計算期末（毎月14日。休業日の場合は前営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。				

## ■最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	ベンチマーク		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額		
			税引前 分配金	期中 騰落率				期中 騰落率	
		円	円	%	%	%	百万円		
①	243期(2023年8月14日)	6,401	10	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5	3,542
	244期(2023年9月14日)	6,412	10	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6	3,519
	245期(2023年10月13日)	6,335	10	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1	3,451
	246期(2023年11月14日)	6,490	10	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2	3,492
	247期(2023年12月14日)	6,311	10	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8	3,354
	248期(2024年1月12日)	6,463	10	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7	3,422
②	249期(2024年2月14日)	6,536	10	1.3	22,932	1.9	90.6	△7.6	3,422
	250期(2024年3月14日)	6,540	10	0.2	22,790	△0.6	83.7	△7.2	3,372
	251期(2024年4月12日)	6,650	10	1.8	23,203	1.8	83.0	△3.0	3,417
	252期(2024年5月14日)	6,824	10	2.8	23,922	3.1	83.2	△24.5	3,493
	253期(2024年6月14日)	6,814	10	0.0	24,238	1.3	85.2	△25.2	3,465
	254期(2024年7月12日)	6,985	10	2.7	24,607	1.5	85.9	△24.7	3,504
③	255期(2024年8月14日)	6,574	10	△5.7	23,490	△4.5	87.1	8.6	3,286
	256期(2024年9月13日)	6,422	10	△2.2	22,854	△2.7	87.4	30.9	3,196
	257期(2024年10月11日)	6,567	10	2.4	23,784	4.1	87.5	10.3	3,250
	258期(2024年11月14日)	6,721	10	2.5	24,280	2.1	87.1	△21.1	3,296
	259期(2024年12月13日)	6,688	10	△0.3	24,036	△1.0	86.8	△4.1	3,267
	260期(2025年1月14日)	6,639	10	△0.6	24,071	0.1	86.2	△18.5	3,235
④	261期(2025年2月14日)	6,638	10	0.1	23,870	△0.8	86.4	△37.6	3,225
	262期(2025年3月14日)	6,411	10	△3.3	23,495	△1.6	88.7	△6.8	3,101
	263期(2025年4月14日)	6,300	10	△1.6	23,205	△1.2	89.7	△7.8	3,015
	264期(2025年5月14日)	6,471	10	2.9	23,553	1.5	89.3	△19.3	3,085
	265期(2025年6月13日)	6,481	10	0.3	23,700	0.6	89.8	△12.2	3,056
	266期(2025年7月14日)	6,605	10	2.1	24,308	2.6	90.4	△18.9	3,105
⑤	267期(2025年8月14日)	6,688	10	1.4	24,476	0.7	90.5	△21.2	3,122
	268期(2025年9月12日)	6,730	10	0.8	24,754	1.1	91.2	△13.8	3,136
	269期(2025年10月14日)	6,895	10	2.6	25,484	3.0	84.7	△34.0	3,170
	270期(2025年11月14日)	6,922	10	0.5	25,890	1.6	86.0	△32.3	3,160
	271期(2025年12月12日)	6,942	10	0.4	26,223	1.3	86.3	△18.7	3,156
	272期(2026年1月14日)	7,069	10	2.0	26,795	2.2	86.5	△55.3	3,210

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

## ■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第267期	(期 首)2025年7月14日	6,605	—	24,308	—	90.4	△18.9
	7月末	6,687	1.2	24,704	1.6	90.2	△42.5
	(期 末)2025年8月14日	6,698	1.4	24,476	0.7	90.5	△21.2
第268期	(期 首)2025年8月14日	6,688	—	24,476	—	90.5	△21.2
	8月末	6,656	△0.5	24,416	△0.2	90.7	△9.2
	(期 末)2025年9月12日	6,740	0.8	24,754	1.1	91.2	△13.8
第269期	(期 首)2025年9月12日	6,730	—	24,754	—	91.2	△13.8
	9月末	6,760	0.4	24,736	△0.1	74.5	△23.3
	(期 末)2025年10月14日	6,905	2.6	25,484	3.0	84.7	△34.0
第270期	(期 首)2025年10月14日	6,895	—	25,484	—	84.7	△34.0
	10月末	6,936	0.6	25,833	1.4	85.1	△14.2
	(期 末)2025年11月14日	6,932	0.5	25,890	1.6	86.0	△32.3
第271期	(期 首)2025年11月14日	6,922	—	25,890	—	86.0	△32.3
	11月末	7,035	1.6	26,317	1.6	86.2	△11.1
	(期 末)2025年12月12日	6,952	0.4	26,223	1.3	86.3	△18.7
第272期	(期 首)2025年12月12日	6,942	—	26,223	—	86.3	△18.7
	12月末	7,009	1.0	26,478	1.0	86.1	△24.1
	(期 末)2026年1月14日	7,079	2.0	26,795	2.2	86.5	△55.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

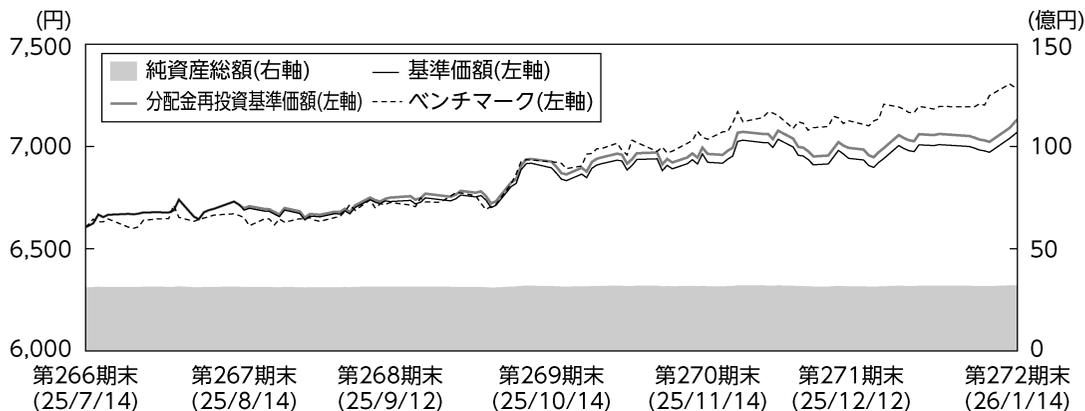
(注2) ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース））は、2003年3月27日（設定日）を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

## 運用経過

## ■ 基準価額等の推移について（2025年7月15日～2026年1月14日）



第267期首：6,605円

第272期末：7,069円

（当作成期中にお支払いした分配金：60円）

騰落率：+8.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,605円から464円上昇し、期末には7,069円となりました。

上昇要因

- ・対米ドルでの円安等によりベンチマークが上昇したこと。

下落要因

- ・債券国別配分戦略、通貨配分戦略、資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。

## ■投資環境について

### <債券市場>

期間中は、米国、英国では国債利回りが低下したものの、日本、ドイツ、フランスでは利回りが上昇しました。

米国債の利回りは、7月中旬に4.5%をやや下回る水準から経済指標の軟化などを受け下降して10月には4.0%を切る水準まで低下しましたが、その後、日欧の金利上昇の影響を受け上昇し4.2%弱の水準で期末を迎えました。

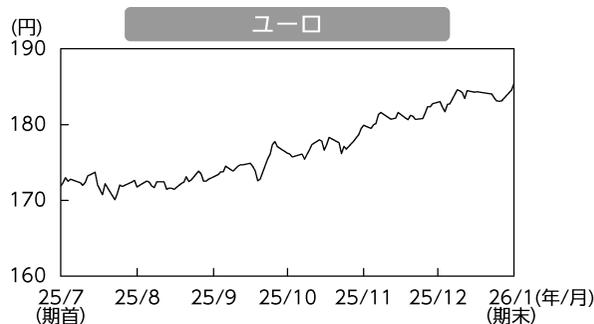
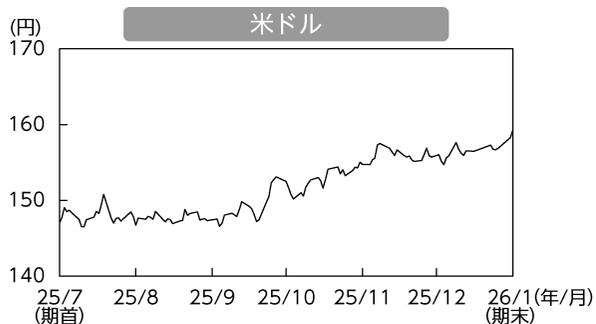
ドイツ10年債利回りは、2025年前半にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行ったことで一時的に2.8%近辺まで上昇しましたが、ECB（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことから10月にかけて低下しました。しかし、底堅い景気と財政拡張に対する懸念から再び上昇して、2.8%を超える水準で期末を迎えました。

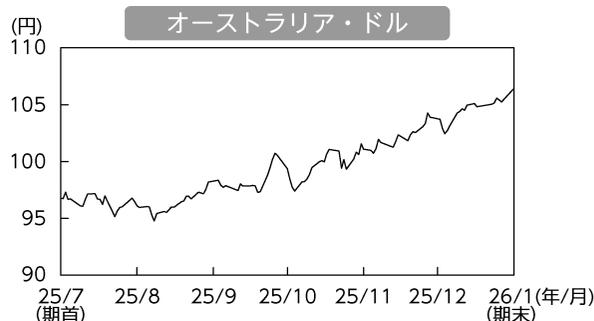
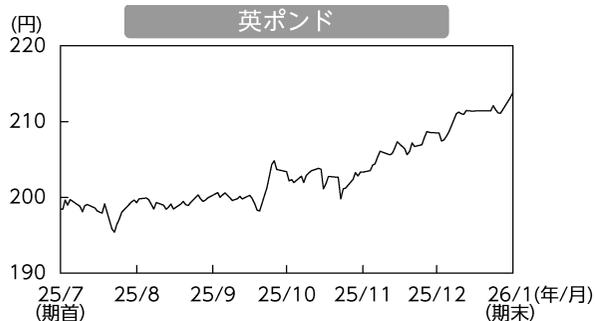
日本においては、4月にトランプ政権の相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで低下しましたが、強い物価指標や日銀の金融正常化路線、また財政拡張派の高市政権の誕生を受け上昇し、2.1%を超える水準で期末を迎えました。

### <為替市場>

主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

### ○為替レート（対円）の推移





出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

## ■ポートフォリオについて

### <本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

### <本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

### 債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はマイナスであったものと推定されます。日本とオーストラリアに対して強気としていたことがマイナス要因となりましたが、カナダに対して強気としたことはプラス要因となりました。

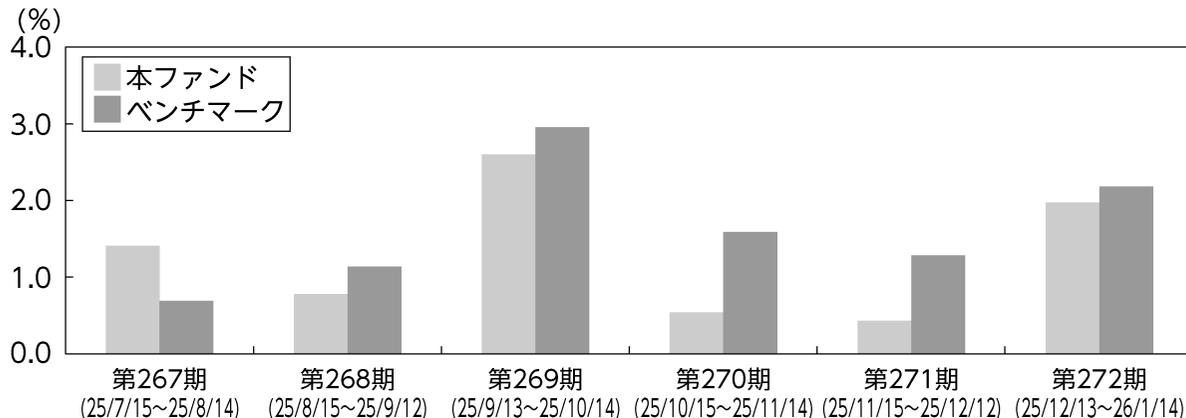
### 通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスに僅かにマイナス要因となったものと推定されます。スイス・フランと米ドルに対して弱気としていたことがマイナス要因となった一方で、英ポンドに対して強気としたことがプラス要因となりました。

## ■ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+8.0%となり、ベンチマーク（+10.2%）を下回りました。

当期においては、債券国別配分、通貨配分、資産間配分がマイナス寄与となりました。

## ■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第267期から第272期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## 今後の運用方針について

### ＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

### ＜本マザーファンド＞

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に弱気の見通しとしています。

### 債券国別配分

債券国別配分においては、米国やフランスに対して強気の見通しとする一方で、ドイツや日本に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、フランスに対してはマクロの観点から強気とする一方で、ドイツに対してはマクロおよびモメンタムの観点から、日本に対してはモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

### 通貨配分

通貨配分においては、英ポンドやカナダ・ドルに対して強気の見通しとする一方で、米ドルやニュージーランド・ドルに対して弱気の見通しとしています。英ポンドに対してはモメンタムやマクロの観点から、カナダ・ドルに対してはマクロの観点から強気の見通しとする一方で、米ドルとニュージーランド・ドルに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2026年1月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## ■1万口当たりの費用明細

項目	第267期～第272期		項目の概要
	2025年7月15日～2026年1月14日		
	金額	比率	
信託報酬	32円	0.471%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(21)	(0.305)	
(販売会社)	(11)	(0.161)	
(受託会社)	(0)	(0.006)	
売買委託手数料	1	0.020	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(1)	(0.017)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.003)	
その他費用	1	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(保管費用)	(0)	(0.003)	
(監査費用)	(0)	(0.004)	
(その他)	(1)	(0.008)	
合計	34	0.506	

期中の平均基準価額は6,847円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2025年7月15日から2026年1月14日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第267期～第272期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	16,033	37,374	81,903	190,248

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年7月15日から2026年1月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2026年1月14日現在)

親投資信託残高

種 類	第266期末	第272期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,392,908	1,327,038	3,217,536

## ■投資信託財産の構成

2026年1月14日現在

項 目	第272期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,217,536	99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,232	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,223,768	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,860,189千円)の投資信託財産総額(3,299,374千円)に対する比率は86.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=159.26円、1カナダドル=114.63円、1ユーロ=185.41円、1英ポンド=213.85円、1オーストラリアドル=106.42円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第267期末	第268期末	第269期末	第270期末	第271期末	第272期末
	2025年8月14日	2025年9月12日	2025年10月14日	2025年11月14日	2025年12月12日	2026年1月14日
(A) 資 産	3,134,590,142円	3,148,273,290円	3,190,521,356円	3,171,256,639円	3,167,319,586円	3,223,768,856円
計量世界債券マザー ファンド(評価額)	3,129,561,723	3,143,619,604	3,177,816,649	3,168,099,899	3,163,849,241	3,217,536,885
未 収 入 金	5,028,419	4,653,686	12,704,707	3,156,740	3,470,345	6,231,971
(B) 負 債	12,247,137	11,692,196	19,942,748	10,304,316	10,355,320	13,523,387
未 払 収 益 分 配 金	4,668,455	4,660,603	4,598,419	4,566,610	4,547,698	4,541,084
未 払 解 約 金	5,028,419	4,653,686	12,704,707	3,156,740	3,470,345	6,231,971
未 払 信 託 報 酬	2,487,905	2,320,320	2,575,692	2,518,460	2,280,672	2,683,721
そ の 他 未 払 費 用	62,358	57,587	63,930	62,506	56,605	66,611
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,122,343,005	3,136,581,094	3,170,578,608	3,160,952,323	3,156,964,266	3,210,245,469
元 本	4,668,455,229	4,660,603,688	4,598,419,232	4,566,610,984	4,547,698,782	4,541,084,721
次 期 繰 越 損 益 金	△1,546,112,224	△1,524,022,594	△1,427,840,624	△1,405,658,661	△1,390,734,516	△1,330,839,252
(D) 受 益 権 総 口 数	4,668,455,229口	4,660,603,688口	4,598,419,232口	4,566,610,984口	4,547,698,782口	4,541,084,721口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,688円	6,730円	6,895円	6,922円	6,942円	7,069円

(注) 当作成期首元本額は4,702,236,144円、当作成期間(第267期～第272期)中において、追加設定元本額は54,606,257円、同解約元本額は215,757,680円です。

## ■ 損益の状況

項 目	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
	自2025年7月15日 至2025年8月14日	自2025年8月15日 至2025年9月12日	自2025年9月13日 至2025年10月14日	自2025年10月15日 至2025年11月14日	自2025年11月15日 至2025年12月12日	自2025年12月13日 至2026年1月14日
(A) 有価証券売買損益	46,231,948円	26,528,009円	83,085,782円	19,453,057円	15,884,353円	65,164,157円
売 買 益	46,521,358	26,720,626	83,661,552	19,626,074	16,307,051	65,270,242
売 買 損	△ 289,410	△ 192,617	△ 575,770	△ 173,017	△ 422,698	△ 106,085
(B) 信託報酬等	△ 2,550,263	△ 2,377,907	△ 2,639,622	△ 2,580,966	△ 2,337,277	△ 2,750,332
(C) 当期損益金(A+B)	43,681,685	24,150,102	80,446,160	16,872,091	13,547,076	62,413,825
(D) 前期繰越損益金	△ 414,629,450	△ 374,424,662	△ 349,679,867	△ 271,544,190	△ 257,015,501	△ 247,299,213
(E) 追加信託差損益金	△ 1,170,496,004	△ 1,169,087,431	△ 1,154,008,498	△ 1,146,419,952	△ 1,142,718,393	△ 1,141,412,780
(配当等相当額)	( 31,878,387)	( 32,061,104)	( 31,870,790)	( 31,888,993)	( 32,472,015)	( 32,668,306)
(売買損益相当額)	(△ 1,202,374,391)	(△ 1,201,148,535)	(△ 1,185,879,288)	(△ 1,178,308,945)	(△ 1,175,190,408)	(△ 1,174,081,086)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,541,443,769	△ 1,519,361,991	△ 1,423,242,205	△ 1,401,092,051	△ 1,386,186,818	△ 1,326,298,168
(G) 収益分配金	△ 4,668,455	△ 4,660,603	△ 4,598,419	△ 4,566,610	△ 4,547,698	△ 4,541,084
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,546,112,224	△ 1,524,022,594	△ 1,427,840,624	△ 1,405,658,661	△ 1,390,734,516	△ 1,330,839,252
追加信託差損益金	△ 1,170,496,004	△ 1,169,087,431	△ 1,154,008,498	△ 1,146,419,952	△ 1,142,718,393	△ 1,141,412,780
(配当等相当額)	( 31,895,332)	( 32,076,804)	( 31,886,652)	( 31,903,824)	( 32,485,656)	( 32,713,158)
(売買損益相当額)	(△ 1,202,391,336)	(△ 1,201,164,235)	(△ 1,185,895,150)	(△ 1,178,323,776)	(△ 1,175,204,049)	(△ 1,174,125,938)
分配準備積立金	147,214,797	151,630,335	154,985,381	157,932,147	160,049,845	164,648,857
繰越損益金	△ 522,831,017	△ 506,565,498	△ 428,817,507	△ 417,170,856	△ 408,065,968	△ 354,075,329

(注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

## ■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約（販売会社によっては名称が異なる場合もございます）に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

## ■ 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第267期	第268期	第269期	第270期	第271期	第272期
	2025年7月15日 ～2025年8月14日	2025年8月15日 ～2025年9月12日	2025年9月13日 ～2025年10月14日	2025年10月15日 ～2025年11月14日	2025年11月15日 ～2025年12月12日	2025年12月13日 ～2026年1月14日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.149	0.148	0.145	0.144	0.144	0.141
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	383	394	406	415	423	434

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 計量世界債券 マザーファンド

## 親投資信託

第46期(決算日2026年1月14日)

作成対象期間:2025年7月15日～2026年1月14日

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	期中騰落率	円	期中騰落率			
42期(2024年1月12日)	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7	3,430
43期(2024年7月12日)	22,983	9.6	24,607	9.4	85.7	△24.7	3,512
44期(2025年1月14日)	22,153	△3.6	24,071	△2.2	86.0	△18.4	3,243
45期(2025年7月14日)	22,348	0.9	24,308	1.0	90.2	△18.9	3,112
46期(2026年1月14日)	24,246	8.5	26,795	10.2	86.3	△55.2	3,217

(注1) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首) 2025年7月14日	22,348	—	24,308	—	90.2	△18.9
7月末	22,636	1.3	24,704	1.6	90.2	△42.4
8月末	22,583	1.1	24,416	0.4	90.6	△9.2
9月末	22,988	2.9	24,736	1.8	74.5	△23.3
10月末	23,641	5.8	25,833	6.3	85.0	△14.2
11月末	24,030	7.5	26,317	8.3	86.2	△11.1
12月末	23,995	7.4	26,478	8.9	86.1	△24.0
(期末) 2026年1月14日	24,246	8.5	26,795	10.2	86.3	△55.2

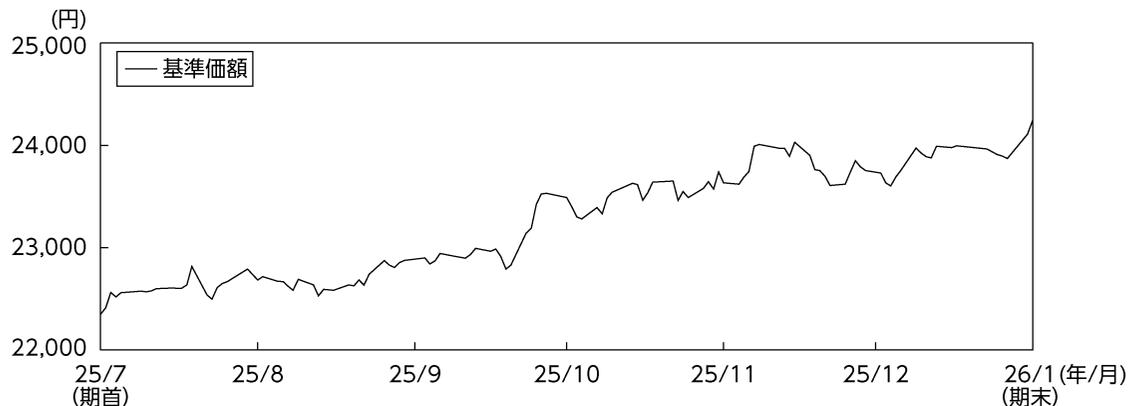
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 運用経過

### ■ 基準価額の推移について（2025年7月15日～2026年1月14日）



### ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の22,348円から1,898円上昇し、期末には24,246円となりました。

#### 上昇要因

- ・対米ドルでの円安等によりベンチマークが上昇したこと。

#### 下落要因

- ・債券国別配分戦略、通貨配分戦略、資産間配分戦略がマイナスに寄与したこと。

### ■ 投資環境について

#### <債券市場>

期間中は、米国、英国では国債利回りが低下したものの、日本、ドイツ、フランスでは利回りが上昇しました。

米国債の利回りは、7月中旬に4.5%をやや下回る水準から経済指標の軟化などを受け下降して10月には4.0%を切る水準まで低下しましたが、その後、日欧の金利上昇の影響を受け上昇し4.2%弱の水準で期末を迎えました。

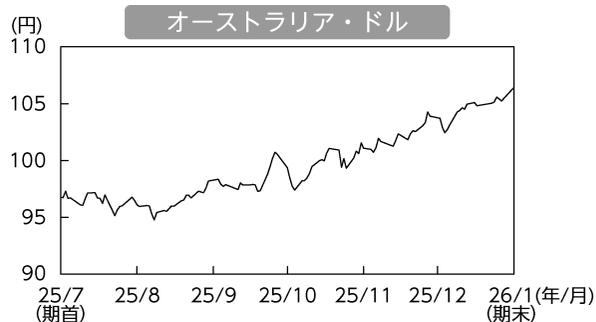
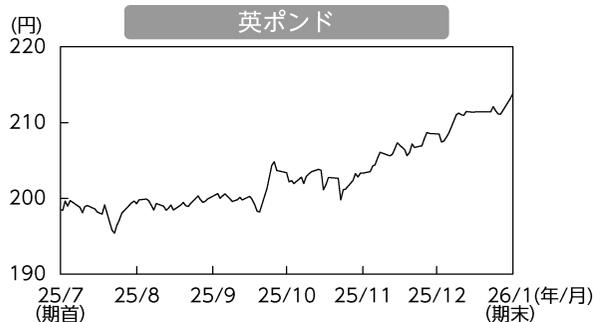
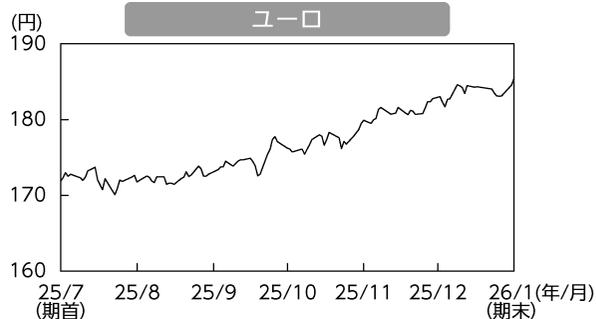
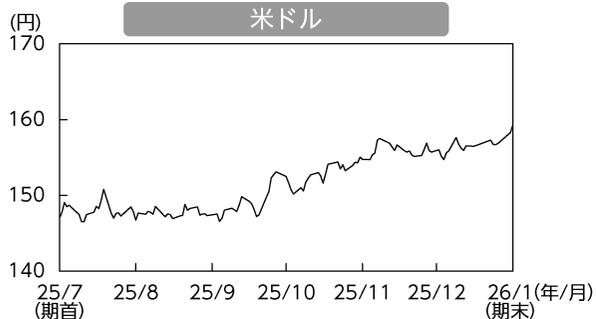
ドイツ10年債利回りは、2025年前半にドイツ議会が国防費拡大のため債務規律を緩和する憲法改正を行ったことで一時的に2.8%近辺まで上昇しましたが、ECB（欧州中央銀行）が利下げスタンスを維持したことから10月にかけて低下しました。しかし、底堅い景気と財政拡張に対する懸念から再び上昇して、2.8%を超える水準で期末を迎えました。

日本においては、4月にトランプ政権の相互関税による不透明感から一時的に1.1%台まで低下しましたが、強い物価指標や日銀の金融正常化路線、また財政拡張派の高市政権の誕生を受け上昇し、2.1%を超える水準で期末を迎えました。

### <為替市場>

主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

#### ○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

## ■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、債券に対して弱気としました。期間中の資産間配分は本ファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。

### 債券国別配分

債券国別配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響はマイナスであったものと推定されます。日本とオーストラリアに対して強気としていたことがマイナス要因となりましたが、カナダに対して強気としたことはプラス要因となりました。

### 通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本ファンドのパフォーマンスに僅かにマイナス要因となったものと推定されます。スイス・フランと米ドルに対して弱気としていたことがマイナス要因となった一方で、英ポンドに対して強気としたことがプラス要因となりました。

## ■ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは+8.5%となり、ベンチマーク (+10.2%) を下回りました。当期においては、債券国別配分、通貨配分、資産間配分がマイナス寄与となりました。

## 今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

### 債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券に弱気の見通しとしています。

### 債券国別配分

債券国別配分においては、米国やフランスに対して強気の見通しとする一方で、ドイツや日本に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、フランスに対してはマクロの観点から強気とする一方で、ドイツに対してはマクロおよびモメンタムの観点から、日本に対してはモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

### 通貨配分

通貨配分においては、英ポンドやカナダ・ドルに対して強気の見通しとする一方で、米ドルやニュージーランド・ドルに対して弱気の見通しとしています。英ポンドに対してはモメンタムやマクロの観点から、カナダ・ドルに対してはマクロの観点から強気の見通しとする一方で、米ドルとニュージーランド・ドルに対してはモメンタムとマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2026年1月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## ■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2025年7月15日～2026年1月14日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	5円 (4) (1)	0.020% (0.017) (0.003)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.004 (0.003) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	6	0.024	

期中の平均基準価額は23,312円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買及び取引の状況(2025年7月15日から2026年1月14日まで)

## (1) 公社債

			買付額	売付額
			千米ドル	千米ドル
外	アメリカ国債証券		1,513	596
	ユーロ	ドイツ国債証券	1,590	3,810
国	イギリス国債証券		105	98

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## (2) 先物取引の銘柄別取引状況

			買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国	債券先物取引	10年国債標準物	百万円	百万円	百万円	百万円
内			3,229	3,216	2,152	1,782
外	債券先物取引	米 国 国 債 先 物 1 0 年	—	—	3,051	3,663
		カ ナ ダ 国 債 先 物 1 0 年	1,521	1,404	51	142
		オーストラリア国債先物10年	1,736	1,772	595	307
		英 国 国 債 先 物 1 0 年	—	—	1,913	2,149
		イ タ リ ア 国 債 先 物 1 0 年	793	820	—	—
国		ド イ ツ 国 債 先 物 1 0 年	—	—	3,405	2,052
		フ ラ ン ス 国 債 先 物 1 0 年	3,381	3,478	441	444

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

## ■ 主要な売買銘柄(2025年7月15日から2026年1月14日まで)

公社債

当 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
DEUTSCHLAND REP 2.9% 56/8/15	193,388	DEUTSCHLAND REP 4.75% 28/7/4	291,995
US TREASURY N/B 3% 48/2/15	117,196	DEUTSCHLAND REP 5.5% 31/1/4	101,944
US TREASURY N/B 4.5% 36/2/15	57,385	DEUTSCHLAND REP 6.25% 30/1/4	100,931
US TREASURY N/B 6.25% 30/5/15	56,562	DEUTSCHLAND REP 4.75% 34/7/4	90,155
DEUTSCHLAND REP 4.75% 34/7/4	22,050	DEUTSCHLAND REP 4% 37/1/4	79,791
DEUTSCHLAND REP 4% 37/1/4	21,620	US TREASURY N/B 6.25% 30/5/15	59,238
DEUTSCHLAND REP 5.5% 31/1/4	21,419	US TREASURY N/B 4.5% 36/2/15	29,636
DEUTSCHLAND REP 6.25% 30/1/4	21,341	UK TREASURY 4.25% 32/6/7	14,603
UK TREASURY 3.25% 44/1/22	6,095	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25% 39/9/7	4,245
UK TSY 4 1/4% 2039 4.25% 39/9/7	5,202	UK TREASURY 4.5% 42/12/7	917

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ■ 利害関係人との取引状況等(2025年7月15日から2026年1月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細(2026年1月14日現在)

## (1) 公社債

## A 債券種類別開示

## 外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 10,603	千米ドル 9,886	千円 1,574,496	% 48.9	% —	% 32.8	% 16.2	% —
ユ ー ロ ド イ ツ	千ユーロ 5,003	千ユーロ 5,397	1,000,698	31.1	—	18.8	12.3	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,024	千英ポンド 940	201,168	6.3	—	6.3	—	—
合 計	—	—	2,776,363	86.3	—	57.8	28.5	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## B 個別銘柄開示

## 外国(外貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
国 債 証 券	(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円		
	US TREASURY N/B 3%	3.0	4,408	3,297	525,087	2048/2/15	
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,223	3,321	529,014	2036/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	2,972	3,267	520,393	2030/5/15	
小 計	—	—	—	—	1,574,496	—	
国 債 証 券	(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ			
	DEUTSCHLAND REP 2.9%	2.9	1,196	1,072	198,818	2056/8/15	
	DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	983	1,081	200,574	2037/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	954	1,101	204,154	2034/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	940	1,073	199,110	2031/1/4	
DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	930	1,068	198,040	2030/1/4		
小 計	—	—	—	—	1,000,698	—	
国 債 証 券	(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド			
	UK TREASURY 3.25%	3.25	301	238	51,033	2044/1/22	
	UK TREASURY 4.25%	4.25	227	230	49,222	2032/6/7	
	UK TREASURY 4.5%	4.5	247	235	50,266	2042/12/7	
UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	249	236	50,646	2039/9/7		
小 計	—	—	—	—	201,168	—	
合 計	—	—	—	—	2,776,363	—	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

## (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国 内		百万円	百万円
	10年国債標準物	—	923
外 国	イタリア国債先物10年	403	—
	ドイツ国債先物10年	—	1,543
	米国国債先物10年	—	160
	英国国債先物10年	—	236
	カナダ国債先物10年	138	—
	フランス国債先物10年	875	—
	オーストラリア国債先物10年	—	327

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

## ■投資信託財産の構成

2026年1月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,776,363	84.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	523,011	15.9
投 資 信 託 財 産 総 額	3,299,374	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (2,860,189千円) の投資信託財産総額 (3,299,374千円) に対する比率は86.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=159.26円、1カナダドル=114.63円、1ユーロ=185.41円、1英ポンド=213.85円、1オーストラリアドル=106.42円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2026年1月14日
(A) 資 産	10,439,396,691円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	346,331,300
公 社 債 ( 評 価 額 )	2,776,363,365
未 収 入 金	7,231,966,867
未 収 利 息	31,593,672
前 払 費 用	4,575,035
差 入 委 託 証 拠 金	48,566,452
(B) 負 債	7,221,825,814
未 払 金	7,215,593,843
未 払 解 約 金	6,231,971
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	3,217,570,877
元 本	1,327,038,227
次 期 繰 越 損 益 金	1,890,532,650
(D) 受 益 権 総 口 数	1,327,038,227口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,246円

## ■損益の状況

項 目	当 期
	自2025年7月15日 至2026年1月14日
(A) 配 当 等 収 益	64,122,959円
受 取 利 息	64,122,959
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	241,051,940
売 買 益	429,651,979
売 買 損	△ 188,600,039
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△ 47,336,755
取 引 益	64,980,711
取 引 損	△ 112,317,466
(D) そ の 他 費 用 等	△ 219,387
(E) 当 期 損 益 金 ( A + B + C + D )	257,618,757
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	1,719,916,973
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	21,341,793
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 108,344,873
(I) 計 ( E + F + G + H )	1,890,532,650
次 期 繰 越 損 益 金 ( I )	1,890,532,650

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,392,908,677円、当作成期間中において、追加設定元本額は16,033,000円、同解約元本額は81,903,450円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,327,038,227円

# マネー・オープン・マザーファンド

## 運用報告書

第23期（決算日 2026年1月15日）  
（2025年1月16日～2026年1月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

## ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
19期(2022年1月17日)	円		%		%	百万円
	10,158		△0.0		—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0		—	316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0		—	293
22期(2025年1月15日)	10,161		0.1		65.9	273
23期(2026年1月15日)	10,205		0.4		62.6	239

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2025年1月15日	円		%		%
	10,161		—		65.9
1月末	10,162		0.0		128.9
2月末	10,165		0.0		60.7
3月末	10,169		0.1		62.6
4月末	10,172		0.1		129.2
5月末	10,175		0.1		62.2
6月末	10,179		0.2		62.3
7月末	10,182		0.2		124.3
8月末	10,186		0.2		62.1
9月末	10,190		0.3		61.9
10月末	10,194		0.3		123.6
11月末	10,198		0.4		61.7
12月末	10,202		0.4		62.8
(期 末) 2026年1月15日	10,205		0.4		62.6

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2025年1月16日～2026年1月15日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,161円の基準価額は、期間末に10,205円となり、騰落率は+0.4%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月ならびに12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.25%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.70%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

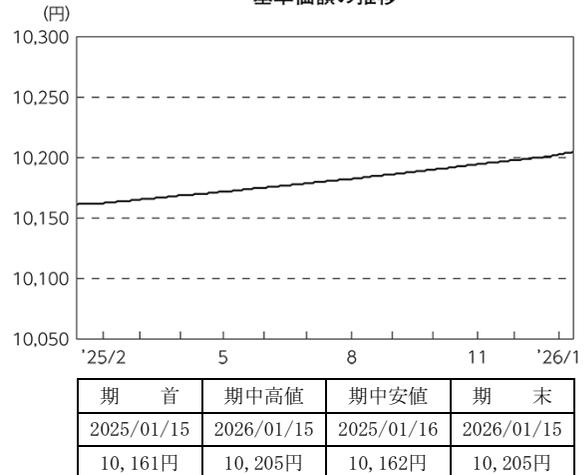
運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



## ○1万口当たりの費用明細

(2025年1月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2025年1月16日～2026年1月15日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 609,475	千円 — (640,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年1月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年1月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2026年1月15日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	150,000	149,979	62.6	—	—	—	62.6	
合 計	150,000	149,979	62.6	—	—	—	62.6	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額
国債証券		%	千円	千円
第457回利付国債(2年)		0.1	150,000	149,979
合 計			150,000	149,979

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 149,979	% 62.6
コール・ローン等、その他	89,436	37.4
投資信託財産総額	239,415	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月15日現在)

項目	当期末	円
(A) 資産	239,415,093	
コール・ローン等	89,364,953	
国債証券(評価額)	149,979,776	
未収利息	31,324	
前払費用	39,040	
(B) 負債	6,338	
未払解約金	6,338	
(C) 純資産総額(A-B)	239,408,755	
元本	234,608,107	
次期繰越損益金	4,800,648	
(D) 受益権総口数	234,608,107口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,205円	

(注) 当ファンドの期首元本額は268,676,073円、期中追加設定元本額は6,519,743円、期中一部解約元本額は40,587,709円です。

(注) 2026年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	116,843,470円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	53,668,720円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	15,194,026円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	11,297,264円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	8,652,379円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	5,887,667円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	5,520,841円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	4,999,195円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	4,376,147円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,851,504円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	2,168,596円
・日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	1,616,365円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	498,915円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	409,799円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	405,184円
・上場インデックスファンド中国A株(パンダ)E Fund CSI300	198,295円
・上場インデックスファンド海外債券(FITSE WCBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0205円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○損益の状況 (2025年1月16日～2026年1月15日)

項目	当期	円
(A) 配当等収益	528,174	
受取利息	528,174	
(B) 有価証券売買損益	508,862	
売買益	532,669	
売買損	△ 23,807	
(C) 当期損益金(A+B)	1,037,036	
(D) 前期繰越損益金	4,339,018	
(E) 追加信託差損益金	117,795	
(F) 解約差損益金	△ 693,201	
(G) 計(C+D+E+F)	4,800,648	
次期繰越損益金(G)	4,800,648	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2025年1月16日から2026年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
  - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第5条)
  - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第45条)